

Chromebook を活用したハワイの友達とのやり取り (NEW HORIZON English Course 2 Unit 7 World Heritage Sites)

①話・や

②個・学

②協・遠

②評価

③タブ

【ここがポイント！】

④Zoom

④Google Meet

④Terra Talk

①「Terra Talk」

帯活動で Terra Talk を活用することにより、A1 と様々な日常会話のトピックについて、学習者個人のペースで会話を進めることができる。会話の場面、状況から必要な情報を読み取ったり、聞き取ったりして会話を進める。

②「Zoom・Google Meet の活用」

Zoom 及び Google Meet を活用して、8年生が同じ学園内の4年生やハワイの生徒とオンラインで交流を行う。

③「評価」

A1 T とのやり取りの様子を2回撮影したものを基に評価する。

④「スライド作成」

自分たちの町の情報を相手に分かりやすく説明するため、写真や動画を表示するなどの工夫を行い、スライドを作成する。

【実践の目標】

自分たちの町について、町の情報や自分の考えを伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。

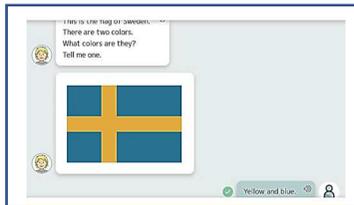
【実際の場面】

1. 忠海の町について調べる

クラスで忠海の町について、紹介したい発表内容を考えた。その後、各班でそれらについて詳しく調べ、Google スライドを用いて発表内容の構成を考えた。

2. Terra Talk で話す活動をする

帯活動で Terra Talk が提供する様々なトピックを各自で選択し、学習者個人のスピードで話す活動を行った。会話の場面・状況から必要な情報を読み取ったり、聞き取ったりして会話を進めた。



3. Google スライドで発表資料を作成する

自分たちの町の有名な観光スポットである「大久野島」を含む発表内容について、クラスで協働して1つのスライドを作成した。

4. 4年生と Zoom で交流する

4年生が総合的な学習の時間で「大久野島」を調べ学習していることから、作成したスライドを使って4年生とやり取りし、質問に即興で英語を用いて答えることに取り組んだ。

5. 中間評価を行う

4年生との交流を行った。その後、全体にフィードバックを行った。

6. ハワイの生徒と交流を行う

ハワイの生徒とオンラインで交流をした。交流を通して、成果と課題を見つけることができた貴重な経験となった。

7. 評価を行う

交流後、2回目のやり取りの評価テストを行った。教師用フォルダに提出された動画を基に指導者が評価を行った。

【成果と課題】

【成果】

○Terra Talk を活用することで学習者個人のペースで、会話の中で必要な情報を聞いたり、読んだりして会話の流れを意識した相手とのやり取りを行うことができた。
○多様な英語話者とコミュニケーションを図る機会を設定することで、必要な情報を聞き、相手が必要としている内容に加えて自分の気持ちを表現できる生徒が増えた。

【課題】

○言語活動の更なる向上を図るため、中間評価を含む評価の充実やICT機器の効果的な活用方法について研究する。
○目指す姿の実現に向け、生徒一人一人の学習到達度に合わせて、効果的な学習ツールを選択できるようにする。

竹原市立忠海学園

